

(様式第2号)

平成22年度第1回 芦屋市心身障害児適正就学指導委員会 会議要旨

日 時	平成22年6月10日(木) 13:00~14:30
場 所	北館4階 教育委員会室
出席者	委員長 鈴木 紀元 (芦屋市医師会長) 副委員長 中村 整七 (芦屋市立打出教育文化センター所長) 委員 余吾 康幸 (芦屋市保健福祉部障害福祉課長) 水谷 幸雄 (芦屋市保健福祉部こども課保育所担当課長) 瀬戸山敏子 (芦屋市保健福祉部健康課長) 堺 執 (三田谷治療教育院長) 鎌倉 尚憲 (ひょうご発達障害者支援センター心理士) 登 正子 (芦屋市立伊勢幼稚園長) 今村 一美 (芦屋市立山手中学校教頭) 田原 得良 (芦屋市立山手小学校教諭) 事務局 藤原 周三 (芦屋市教育長) 上月 敏子 (芦屋市教育委員会学校教育部長) 北野 章 (芦屋市教育委員会学校教育課長) 佐野 恵子 (芦屋市教育委員会学校教育部主幹) 春井 昌希 (芦屋市教育委員会学校教育課主査) 畑中 稔 (芦屋市教育委員会特別支援教育センター長) 欠席委員 寺内 嘉一 (芦屋市医師会) (精神科医) 玉暉 潤 (芦屋市立岩園小学校長)
事務局	芦屋市教育委員会学校教育課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由> 審議の内容に個人情報が含まれているため、非公開とする。
傍聴者数	0 人 (一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

- (1) 委嘱状交付式
- (2) 正副委員長選出
- (3) 教育委員会からの諮問
- (4) 審議
 - ① 報告事項
 - ア 平成21年度 就学指導の結果について
 - ② 協議事項
 - ア 専門部の設置について
 - イ 適正就学指導の流れについて
- (5) その他

2 提出資料

資料1 平成21年度 芦屋市中心身障害児適正就学指導委員会審議結果一覧

資料2 芦屋市中心身障害児適正就学指導委員会 専門部員

資料3 教育上特別配慮のいる児童・生徒の追跡調査について

資料4 平成23年度 就学予定児童生徒の調査について

資料5 平成23年度 小・中学校入学予定児童生徒のうち、教育上特別な配慮のいる児童生徒の調査について

資料6 調査書式

3 審議経過

(1) 平成21年度芦屋市中心身障害児適正就学指導委員会の審議結果に基づく、今年度入学児童生徒の措置先等について、事務局から報告を行った。

(2) 専門部の設置について、次の点に関して協議を行った。

- ① 専門部員の指名
- ② 専門部への付託事項

(3) 適正就学指導の流れについて、次の点に関して協議を行った。

- ① 教育上特別配慮のいる児童・生徒の追跡調査
- ② 平成23年度 就学予定児童生徒の調査について
- ③ その他の心身障害児の適正就学に関する実態調査
- ④ 調査様式

[主な質疑・意見]

- 専門部員が行動観察や判断が困難な場合は、専門部特別委員を加えることができるよう委員会規則第8条にその旨を追加してはどうか。
- 学校現場で、多くの教師が発達障害の児童生徒の対応に苦勞し、また福祉サイドでは、就勞時等に初めて問題が浮き彫りになって、対応に苦慮している現状がある。学齡期での早期発見や個別のニーズに応じた指導が重要である。
- 調査様式Aの聴力の状況欄については、実施していなければ未実施と記入する。

[結論]

今年度、上記の(1)(2)(3)について、事務局提案を承認する。

閉会